

夏季号に寄せて

一般財団法人 日本航空協会 副会長 **清水 信三**



令和8年も折り返しを迎え、航空宇宙分野を取り巻く環境は、世界的な情勢変動と技術革新が重なり合い、かつてない速度で変化しております。日本航空協会では、こうした時代の潮流を確かな未来へと結びつけるべく、役職員一同、日々研鑽を重ねております。

航空分野に目を向けますと、「国内航空のあり方に関する有識者会議」をはじめ、将来にわたる持続可能な航空ネットワークの構築に向けた議論が一段と深まっております。人口減少や地域間格差の拡大、人材不足といった構造的課題に対し、国・自治体・航空会社が一体となった新たな枠組みの構築が求められています。一方で、eVTOLをはじめとする次世代モビリティの社会実装に向けた取り組みも進展しており、空の移動は今、歴史的な転換期を迎えております。国内外の交流が活発化する中、これらの課題を乗り越え、航空ネットワークの充実が地域経済のさらなる発展に寄与することを期待しております。

宇宙分野におきましては、国際宇宙探査「アルテミス計画」において、日本人宇宙飛行士の月面着陸に向けた準備が本格化し、未知の領域への挑戦が大きな希望をもたらしています。また、民間企業による小型衛星開発や宇宙データ利活用など、いわゆるニュースペースの動きは一段と活発化し、宇宙は研究の場から産業の場へと確実に広がりを見せています。当協会では、こうした宇宙分野の最前線に関わる講演会を企画・開催し、産官学の皆様とともに最新動向の共有と議論の深化に努めております。

当協会の事業におきましても、航空神社へのご参拝とお守りの授受、講演会へのご参加をはじめ、航空図書館や「航空会館ビジネスフォーラム」会議室など、多くの皆様にご利用いただき、日々活気を呈しております。航空遺産継承事業では、先人たちの様々な功績を後世に伝えるべく、航空遺産の収集・保存・公開活動を一層精力的に推進し、その文化的・歴史的価値を広く社会に発信しております。

航空スポーツの分野におきましても、国内外で多様な大会が開催され、各地の航空スポーツ教室や模型飛行機教室には、未来の航空宇宙を担う子どもたちの熱意と笑顔が溢れております。また、当協会が連携する国際絵画コンテスト「FAI Young Artist Contest」では、本年、14～17歳クラスで日本の参加者が世界1位と2位を獲得する快挙を成し遂げました。こうした教育・体験の場の拡充は次世代の人材育成に極めて重要であり、当協会としても「夏休み航空教室」の開催を含め、引き続き取り組みを進めてまいります。

航空業界は現在、日々の運航を支える安全品質のさらなる向上に真摯に向き合っております。いかなる時も安全と信頼を第一としながら、私たち航空・宇宙に携わる者は、未来を担う若者に大きな夢を与え続けなければなりません。日本航空協会も着実に歩みを進めてまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。